

川  
柳

## 【小学1年生・2年生】

特 選 ひっこぬくうんとこしよとさつまいも

金城小学校1年 志萱 墨斗

(評) 力いっぱい、さつまいもをぬいている顔が目にかびます。ぬいたあと、どんなりよう理で食べましたか。大きさをまんしながら、友だちとワイワイ楽しかったでしょう。楽しい句をたくさん作ってください。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

特 選 いつのまにじゃがいも家にはえていた

金城小学校2年 木下 結愛

(評) おもしろい句ができました。きつとにわにじゃがいもが落ちていたのでしょうか。大きくなってじゃがいもとわかったのですね。土をほりましたか。大きなじゃがいもでしたか。つぎは、このじゃがいもの句を書いてみてください。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

特 選 ピンピンのえんぴつはねるとうこうび

佐和山小学校2年 明星 源

(評) 句を読むだけで、学校に行けるうれしさがとてもよくわかります。上手にできました。えんぴつも作者もいっしょにはねてうきうきしています。上手に、ひょうげんできたので、うれしくなり、私もはねています。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

特 選 リレーしてにんじやのようにかけぬける

城西小学校1年 本田 紘生

(評) 一番になったのですね。ゲームの中の「にんじや」の走り方ですね。「かけぬける」スピードが早いことがわかります。五・七・五もきちんとできています。にんじやのしゅりけんのように、句もパバツとたくさん作ってください。

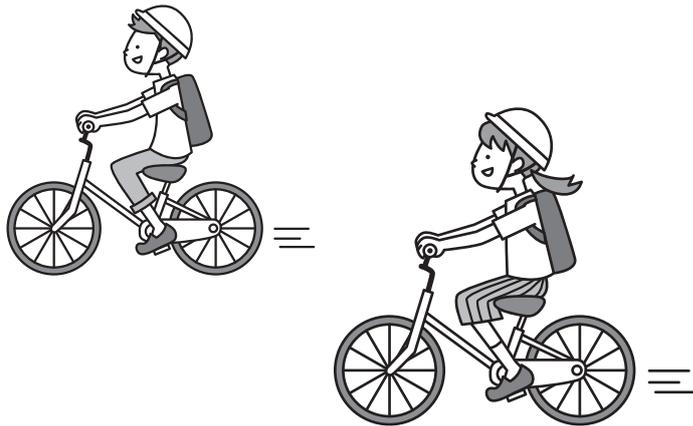
(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

特 選 じてんしゃこぎこぎびゅんびゅんたのしいな

城北小学校1年 上坂 薫

(評) 「こぎこぎ」「びゅんびゅん」おなじことはが二回ずつくりかえされています。自てんしゃの動き、作者のようすが目の前に見えるようです。五・七・五になっていないことがさんねんですが、ぜんたいのリズムが楽しいのでえらびました。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)



準特選 あきのそらなんかのくもがおよいでる

稲枝東小学校1年 堀口 芽依

(評) どこまでもすきとおった、青い秋の空がきれいです。雲がうかんでいたのです。ひこうき雲かな？うろこ雲かな？いえいえ魚のかたちをしておよいでいるように見えました。「なんか」がおもしろい。「およいでいる」がすばらしい。いい句ができました。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 ママとパパねるのおそくてずるいよね

金城小学校1年 菅生 咲絵

(評) 作者もおそくまでおきているのかな。それとも、少しねむってから目をさましたのかな。パパとママは楽しそうにテレビを見ていたのですね。なかよしの二人、ゆるしてあげてね。かんじたことを、うまく十七音にまとめました。感心しました。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 たのしいなぶらんこのるとゆめみそう

金城小学校1年 田中 彩奈

(評) ぶらんこにのって、けしきが変わると、いろいろそうぞうがふくらみますね。どのような「ゆめ」がうかびましたか。空をとんでいる気持ちですか。ひこうきにのっている気持ちですか。ぶらんこは本とうに楽しいですね。友だちにも教えてあげてくださいね。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 てまきずしたん生日の日よろしくね

金城小学校2年 尾本 愛理

(評) お母さんにおねがいする句ですね。お母さんに伝えたいことを句にすると、とてもよいアイデアです。むりなお願ねがい、おこられそうになったとき、句で話をする、うまくあいてに伝わり、楽しいと思います。お母さんにも句でへんじをもらってくださいね。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 わたしはね犬をかってるもふもふだ

金城小学校2年 谷村 苺瑚

(評) 「もふもふ」おもしろいことばです。毛の長い犬でしょうか。かわいいですね。さんぽは作者が行くのでしょうか。五・七・五の音おんもうまく書いています。おもしろいことばをいっばいさがして句を作ってください。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 なんだろうキンモクセイのいいかおり

金城小学校2年 福田 陽真里

(評) やわらかい風のに乗り、どこからかキンモクセイのかおりがします。気がつき、思ったまますなおな句くができました。目耳はなをフルかつようして、楽しい句をたくさん作ってください。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 どくしよはよんでえらんだのしいな

城北小学校1年 田部 詩織

(評) 本がすきなのですね。「えらんで」のことばに感かん心しました。本は読んで楽しむものだと思っていました。作者はその前の「えらぶ」ことの楽しみを教えられました。いろいろなことばを使ってまた句くを作ってください。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

準特選 どうしてるはなれていてもともだちだ

平田小学校2年 北川 維知人

(評) なかのよい友だちが、ひっこししたのかな。さみしくなりましたね。でも、手紙を書いたり、でんわで話をしたりできるので、ずっと友だちでいられます。「どうしてる」の五音で「あいたいな、さみしいな」の気持ちがよく伝わります。いい句くです。

(彦根文芸協会 森口 ゆめみ)

佳 作 ふわふわとわたあめみたいなくもだな

稲枝北小学校1年 中川 嘉人

佳 作 ゆうひからでてくるひかりきもちいい

稲枝西小学校2年 ベネット 知希

佳 作 あきのうみくじらがそらでおよいでる

稲枝東小学校1年 奥田 汐璃

佳 作 おべんとうおいしいよママありがとう

金城小学校1年 大久保 七美

佳 作 ブランコにのったらそらにういてるな

金城小学校1年 渡邊 裕人

佳 作 おいしくてたべてしまったざんねんだ

金城小学校2年 森本 結愛

佳 作 歩いたら風があたって気持ちいな

金城小学校2年 牛島 心羽

佳 作 かたつむり雨の日見つけたかわいいな

金城小学校2年 角川 茉央

佳 作 くさいけどまだまだおちるぎんなんさ

金城小学校2年 長谷川 音彩

佳 作 今年のリレー四いだったくやしいな

金城小学校2年 青木 ケンジ

佳 作 ならったよかんじカタカナだいすきよ

城東小学校1年 佐藤 知紗

佳 作 ぞうきんでろうかところピッカピカ

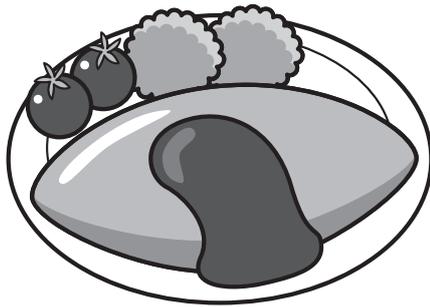
城東小学校1年 加藤 光季

佳 作 おとうとはぼくにやさしいおもしろい

城北小学校1年 田中 環大朗

佳 作 そうじいやだけどがんばってほめられた

城陽小学校1年 内崎 楓



入 選 えんぴつが八ぼんありますどれつかう

稲枝北小学校1年 西川 紗奈

入 選 ダンスでねうまくいけるかふあんだな

稲枝東小学校2年 川寄 聖奈

入 選 オムライスおかあさんのがだいすきだ

稲枝東小学校2年 木村 理乃

入 選 ピーマンだどうしようかなのこそうか

稲枝東小学校2年 大西 詩楽

入 選 おいしいなごはんたいりょうたべられた

金城小学校1年 池上 肇

入 選 あかとんぼつかまえたけどこわかった

金城小学校1年 村上 沙奈

入選 すいかわりみんなでたべるいい気分

金城小学校2年 川口 紗奈

入選 ダンスでは力いっぱいいうごかした

金城小学校2年 江畑 心絢

入選 ダンスでは手をピシットのばしておどったよ

金城小学校2年 冨田 ひなの

入選 あさおきてごはんたべたらげんきでた

城北小学校1年 堤 涼

入選 おにごっこにげておいかけてたのしいよ

城北小学校1年 中村 優里奈

入選 日がくれてきれいにかがやくにしのそら

城北小学校2年 吉田 雪菜

入選 じゅぎょう中ゲームを考え上の空

城北小学校2年 加藤 勇斗

入選 冬にこたつあたたかいから出たくない

城北小学校2年 福島 あずな

入選 あさおきてなにがおきるかわからない

城北小学校2年 藤本 嵩仁

入選 さむいなーとてもつめたいふゆのあさ

城北小学校2年 石原 莉緒

入選 コスモスのゆれるほほえみかわいいね

城北小学校2年 中島 知音

入選 さようならあしたあおうねありがとう

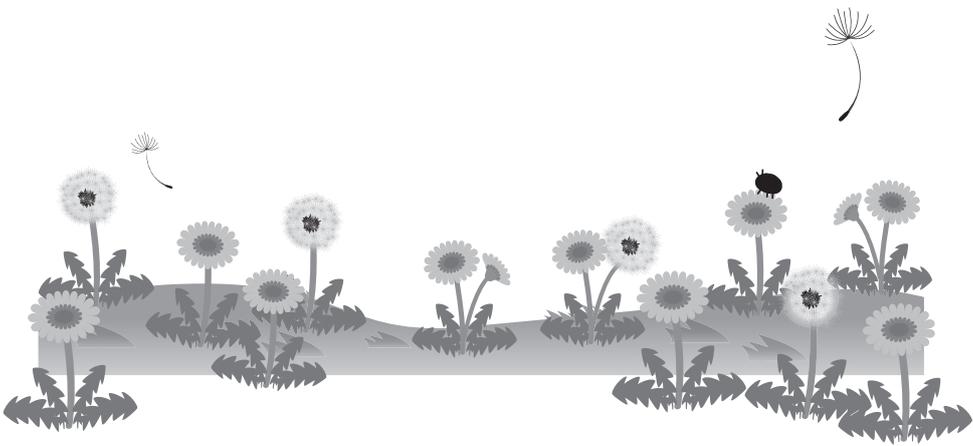
城陽小学校1年 若林 瑠依

入 選 たんぽぽがゆらゆらゆらときれいな

平田小学校2年 山本 春音

入 選 マジヨは空をとんであなたを見ていた

金城小学校2年 高藤 マイ



【小学3年生・4年生】

特 選 ねるときに見るとかわいいおとうとよ

鳥居本小学校4年 石崎 智史

(評) 先に寝ていた弟の寝顔を見ての句です。

その日に言い合いをしたり、いやなことがあったことも忘れて、弟への深い思  
いが浮かびます。幼子の寝顔を見た時の気持ちを大事にしたいと思います。よ  
い思い出になるでしょう。

(彦根文芸協会 浅井 利行)

特 選 ひがんばなおもいだすのはごんぎつね

稲枝東小学校4年 荒木 照大

(評) 秋の彼岸(ひがん)ころにだけ咲くひがんばなを見て、学校で習った新美南吉の童話  
「ごんぎつね」の悲しいお話を思い出したのでしょう。南吉の故郷の愛知県矢勝川

の近くには地元の人々によって植えられたひがんばなを見ることができます。

(彦根文芸協会 浅井 利行)

特 選 栗拾い拾うだけでも楽しいな

城西小学校3年 近藤 冴羅

(評) 栗拾いでは栗の実を包む「いが」を少しむいて、実の大きさや個数を見定め

て拾う楽しみがあります。たんに拾い集めるだけではなく、宝さがしに似てい  
ます。拾った後の栗の実を食べることと同じ楽しさを体験したのでしよう。

(彦根文芸協会 浅井 利行)

準特選 おべんとうからあげいれてお母さん

佐和山小学校3年 橋本 昌哉

(評) お母さんへお願いで、おべんとうに入れてほしいものを具体的に「からあ  
げ」とさりと書いているのがよい。食べ物をおいしいとか、食べたいと表現  
していない点に作者らしさが出ています。

(彦根文芸協会 浅井 利行)

準特選 一日はとても早いよなせだろう

城南小学校3年 國安 祐成

(評) 一日が早く感じるのは、きつと楽しいことをしているからでしょう。苦つうや  
退くつな時はぎやくに時間が長く感じるものです。きょう味の持てる何か新しい  
ことを始めたのではないのでしょうか。何もかも忘れて熱中するのもあります。

(彦根文芸協会 浅井 利行)

準特選 秋休みなぜないのかがきになるよ

城西小学校3年 小川 遥斗

(評) 春、夏、冬の休みは学期の区切りの時期にあります。秋は気こうもよくて運  
動や学習にがんばってそのせいか実る時なのです。

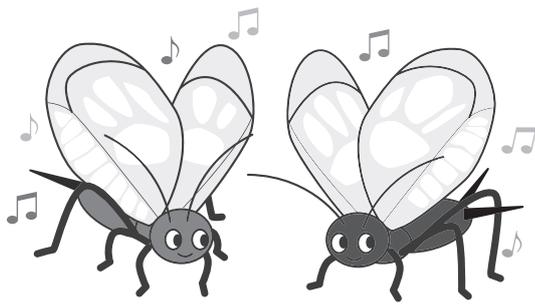
(彦根文芸協会 浅井 利行)

準特選 あさごはんいそいでたべてがっこうだ

稲枝東小学校4年 高木 慧

(評) 朝ごはんを食べて学校に行くのがしゅうかんになつているのがよくわかります。食べていると昼までの授業も落ち着いて受けることができますね。

(彦根文芸協会 浅井 利行)



佳作 ねこちゃんのかわいいしっぽあそぼうね

稲枝西小学校3年 仲村 春乃

佳作 おかあさんきげんなおってよかったな

城北小学校3年 吉田 梨那

佳作 夏休み楽しい時間すぐ終わる

城西小学校3年 平野 文雲

佳作 あきのよるすずむしたちのえんそうだ

城西小学校4年 松田 悠那

佳作 雨の音耳をすますときこえるよ

城西小学校3年 山岸 瑤奈

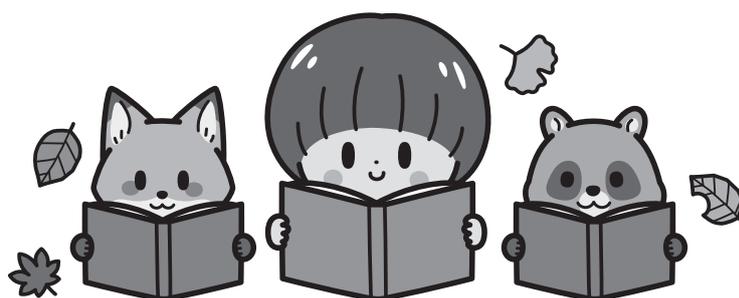
佳作 おべんとう作ってくれてありがとう

城陽小学校3年 森 結翔

佳作 すきなほんどくしよのあきによもうかな

稲枝東小学校4年 吉村

旭



入選 おなかグーこくごのじかんはずかしい

城西小学校4年 谷垣 和佳

入選 姉の部屋赤色の花おいてるよ

城西小学校3年 野本 梨菜

入選 黒板が黄色に代わりびっくりだ

城西小学校3年 櫻木 翔

入選 晩ご飯美味しいごはん食べてます

城西小学校3年 北村 悠真

入選 うんどう会みんなでたべたおべんとう

稲枝東小学校4年 本持 瑚子

入選 昼休みブランコこいで気持ちいい

鳥居本小学校4年 北川 樹希

入 選 鉛筆が小さくなって使えない

平田小学校4年 林 琥太郎

入 選 おかのうえいいろんなものがみえるんだ

稲枝西小学校3年 中村 夏

入 選 おにごっこいっぱいやってつかれるな

城陽小学校3年 中 嶋 進之助

入 選 おかあさんおとうとのせわありがとう

城陽小学校3年 西村 柚香

入 選 くらいろでまるくなるんだだんごむし

城西小学校3年 井本 空良



【小学5年生・6年生】

特選 休みの日お出かけしようとお母がいう

金城小学校5年 安達 雅

(評) えっ、宿題が終わってないのに。お出かけはうれいけれど、お母さんに誘われるなんて初めてだし何かへん。どうかしたのかな、大丈夫なのかな。うれしさとまどいとお母さんを気づかう気持ちがないませ(いくつかまざること)になって、よい句になっています。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

特選 つよいかぜひとりではしった百メートル

稲枝北小学校6年 村井 蓮愛

(評) この風は向かい風。友だちやなまといっしょに走ればがんばれるけれど、ひとりで走るのはきつい。きついけれど走らなければならない。「ひとりで走った100メートル」の経験はとても大切だね。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

特選 ともだちにうれしいことばありがとう

平田小学校6年 茂森 丈一郎

(評) 「友だちに」の「に」。誰かがわたしの友だちにうれしい言葉をかけてくれた。そのことがわたしにもほんとうにうれしいものだった。ありがたかった。友だちを思う心、声をかけてくれた人への感謝の句です。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 いもうとのえほんよむこえこちよい

平田小学校5年 大地 颯希

(評) ひらがなを覚えたばかりの妹が一字ひともし声を出して読んでいます。たまにまちがえたり、つまったりもしている。いつもはうるさいばかりだけれど、絵本を読む声はなにかかわいくてこちよいと感じたのですね。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 かねがなる六時の合図秋がくる

金城小学校5年 上坂 唯翔

(評) 日が沈み一日が終わるときお寺のかねがなる。屋間はまだ暑かったけれど、夕暮れの風に少し寒ささえ感じるともう秋が来ている。六時のかねの音が秋のくる「合図」だという感じ方がおもしろいですね。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 モンブランとてもおいしいおとなの味

金城小学校5年 大橋 和花

(評) モンブランは栗のケーキ。とても甘くて栗の好きな人にはたまらなくおいしいのだろう。さて、「おとなの味」といわれると「どうも違うぞ」と言いたくなるけれど、たしかに子どものお菓子でもなさそうだね。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 雨の中雨にうたれるあじさいだ

金城小学校5年 小林 妃奈

(評) あじさいには雨が似合っている。いやになるほど降り続けている雨を喜ぶように咲いている。雨の降る日は雨にぬれ、それを苦にはせず。そんな紫の花をじつとながめていると、きつとやさしくなれるね。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)



佳作 コーヒーはどうしてあんなににがいのか

平田小学校5年 松尾 紗耶佳

佳作 あかとんぼ夕ぐれのと きにとんでいる

平田小学校5年 圓城 結梨奈

佳作 運動会成功したぞバトンプス

平田小学校5年 濱田 幸樹

佳作 つかれたないつまでねてもまだねむい

城北小学校5年 杉本 結梨

佳作 ありがとう君も私も嬉しくて

平田小学校6年 疋田 美來

佳作 ぼくはさるけんぶつにんとぼくにてる

城西小学校5年 本田 彩葉

佳 作 頑 張 っ て 勉 強 し た ら 好 き に な る

城北小学校5年 田 邊 俊



入 選 本 を 読 む 心 が 躍 る 時 間 だ よ

城北小学校6年 福原 真子

入 選 お 人 形 一 緒 に い る と 安 心 だ

城北小学校5年 上田 夏葵

入 選 算 数 は 私 に と っ て 難 し い

城北小学校5年 磯谷 和花

入 選 び わ こ は ね き た な い け れ ど い い ん だ よ

平田小学校6年 夏川 夢美

入 選 ひ び ひ び と ゆ う ひ が そ め る も み じ の は

平田小学校5年 上林 良輔

入 選 あ か い そ ら で ん ぐ り が え り ま た あ し た

平田小学校5年 利根川 愛斗

入 選 お母さん携帯ばかり楽しそう

城北小学校5年 西村 朔

入 選 すい魔対僕の勝負はそうぜつだ

城北小学校5年 中嶋 元人

入 選 ぽつぽつとたれる音きき踊ってる

城東小学校5年 池田 柚愛

入 選 秋の空一等星はひとつだけ

金城小学校5年 山本 蒼依

入 選 幸せはバレーボールをしている時

平田小学校6年 堀内 雅



【中学生】

特 選 ペンだけで夢がひろがる紙の上

南中学校2年 中清水 初奈

(評) 書くことが好きなのでですね。一本のペンだけで色々なことができます。「夢がひろがる」に希望の光が見えました。川柳もペン一本でできる文芸です。これからも挑戦を続けてください。

(彦根文芸協会 島田 洋子)

特 選 相棒のラケット片手にいざ出陣

稲枝中学校1年 金築 真帆

(評) 日常の部活動の中で「相棒のラケット」とラケットを大切に思っている心がうまく表現されています。下五の「いざ出陣」で、よしやるぞ！の意気込みを感じます。

(彦根文芸協会 島田 洋子)

準特選 剣道で面を一本爽快だ

稲枝中学校1年 春日 快斗

(評) 苦しいこともある部活の中で、「面頬めんほおの上部または上側部に面が一本決まった。そのときの様子がうかび、「爽快そうかいだ」の一言で気持ち良さが伝わってきました。だから剣道はやめられませんね。

(彦根文芸協会 島田 洋子)

準特選 向かい風自転車降りる田んぼ道

稲枝中学校1年 ベネット 怜

(評) 毎日の自転車通学、何もない田んぼ道は、琵琶湖からの西風が堪える日もあります。中七の「自転車降りる」の動作を入れたことにより、向かい風の強さが伝わり、自転車を押す様子まで浮かびます。頑張れと応援したくなりました。

(彦根文芸協会 島田 洋子)

佳作 部活前楽しみすぎて走ってく

稲枝中学校1年 田口 ななみ

佳作 登校時挨拶したら機嫌良し

鳥居本中学校1年 小堀 柊斗

佳作 宿題が終わっていない残業だ

稲枝中学校1年 上林 拓磨

入選 ぼくたちはゆめに向かってはしってく

鳥居本中学校1年 武田 幸明

入選 テスト後の爽快感がたまらない

鳥居本中学校1年 小崎 愛音

入選 風なびきひとあしはやい秋気分

稲枝中学校1年 山田 沙季

入選 風吹いてゆれるスカート君思う

河瀬中学校2年 丹治 燈里

入選 田んぼだけどこに行っても田んぼだけ

稲枝中学校1年 森 映太

【総評】

コロナ禍で開けなかった「ワークシヨップ」が昨年夏、やっと開催できました。新型コロナウイルスや夏の暑さに負けずに集まってくださり、ありがとうございます。一同喜んでいきます。

今年も楽しい川柳の句を選句しました。みなさんの上達が早いので嬉しさいっぱいです。五・七・五の十七音もそろえられた句がほとんどでした。そして、キラキラとした子どもらしい楽しさにあふれていました。

日常の会話に川柳を利用してみてはいかがでしょうか。

親におねだりするとき、たとえば、

「てまぎずしたん生日の日よろしくね」

「夕飯前おやつ食べたいはらへった」

「今日の夕飯ハンバーグもう少し（ママより）」

メモ紙に書いて冷蔵庫貼り、家族でやり取りしてみてはいかがでしょう。十七音の会話で気持ちのやり取りができ、楽しいのではないかと思います。ぜひ試してみてください。

（彦根文芸協会 森口 ゆめみ）

